



都立水元公園へのスケボー広場の設置 愛好者の増加や機運の高まりで整備を検討 と都が答弁

和泉都議は、水元公園多目的広場東側草地にスケボー広場を整備するよう文書質問を提出して、都は、答弁書で「スケボーを行う人の数が相対的に増加している」と答えました。

「教えあう文化」と練習場所の少なさ

スケボーは、初めからコーチや指導者がいるようなスポーツではなく、ストリートカルチャーとして発展してきたことから、互いに「教えあう文化」があるという専門家もいます。しかし練習できる場所は少ないと答えています。



「もっとうまくなりたい」に応える環境の整備を

認められていない場所で練習する若者たちは、住民からの苦情、警察の監視や注意を受けながらの練習にならざるを得ません。確かに、舗装された道路を走る滑車の音や、ジャンプした時の着地音などは、うるさくないとは言えません。しかし、オリンピックでの日本選手の活躍や、身近に楽しめるスポーツとして若者を夢中にさせることは理解できます。夕方や夜だけでなく、練習に打ち込むことのできる環境が必要です。



水元公園は「利用に伴う騒音等を考慮した設置場所」

スケボー人気の高まりを受けて、都は昨年11月に、スケボー広場の整備の考え方を示しました。整備の条件として、①住宅から150メートル以上離れている②500㎡以上の平坦な広場がある③他の公園利用や自然環境への配慮が可能、を上げています。その条件がある場所の一つとして、水元公園多目的広場には、軟式野球場、サッカー場、テニスコート、ゲートボール場などがすでに整備されており、多くの人々が利用しています。その一角にスケボー広場の設置を求めたのが、和泉都議の文書質問です。都が「ニーズ」と「地域の機運の高まり」があれば、整備を検討すると答えたことは、設置に向けての実現性を示すものであり、重要です。

あらゆる世代があらゆるスポーツを楽しむ場所に

私には、孫がいませんが、妹たちには、それぞれかわいい孫たちがいます。末の妹の孫たちは、私が仙台に帰ると必ず会いに来てくれて、「尚美おばちゃん」と慕ってくれます。妹が「ばあちゃん」なのに、妹より7歳も年上の私が「尚美おばちゃん」。



なおみのさわやかエッセー



尚美おばちゃん

上の子は、ヒップホップダンスに夢中です。披露してくれるダンスは、会うたびに上手になっていて、毎回驚かされます。私も、若い時少しだけジャズダンスを習っていましたが、今はつくばに住み二人の子の母となった姪っ子も、若い時にヒップホップダンスを習ってました。歌ったり、踊ったりが好きな「DNA」なのでしょうか。妹や、甥っ子夫婦、孫たちと会って一緒にご飯を食べ、学校の様子やダンスの事、下の男の子がやっている野球の話などを聞くのは、このうえなく楽しい。この子たちの可能性が豊かに花開き、明るく、楽しく、日々生き生きとしたものになるように、と願っている「尚美おばちゃん」なのです。

和泉なおみの
幹事長日誌

1月30日火	都市計画審議会にむけた検討会議 財務局・主税局の議案説明
1月31日水	チームリーダー会議
2月1日木	荒川下流河川事務所デレク 公共一般労組の対都交渉立会い
2月6日火	提出案件会派代表説明 朝鮮学校補助金問題都民集会 (府中)
2月7日水	定例会前懇談
2月9日金	都政対策委員会(都委員会)
2月9日金	国保運営協議会
2月13日火	議会運営委員会理事会・委員会 都政新報インタビュー
2月16日金	東京母親大会連絡会と懇談
2月19日月	葛飾区消防団運営委員会 弁護士会議
2月20日火	議会運営委員会理事会 開会日本会議
2月21日水	テレビ東京会派代表討論会収録
2月22日木	MXテレビインタビュー収録
2月27~29日	議会運営委員会理事会 本会議
3月1日金	財政委員会

日本共産党都議会議員
和泉なおみの
生活・年金・法律相談
2024年4月10日(水)午後2時より
事前にお電話ください
場所 和泉なおみ事務所